

救急救命と 119 番通報のための日本語

対象者の日本語レベル	入門から上級まで	時間	3 時間
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に適切な助けを求めることができる。 ・緊急時の対処の仕方を日本語で理解する。 ・119 番に電話して救急車が呼べる。 		
実技講師	救急救命士		
日本語補助者	学習者と日本語補助者が同数であると効果的		
準備物	絵カード 1 、 絵カード 2		
配布物	個人情報記入シート 、 振り返りシート		

講座の流れ

時間	学習者の活動	留意点
10 分	【イメージをつかむ】 <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介をする。 ・交通事故、火事、倒れている人などの絵カード 1を見て、「こんなときどうするか？」を、グループで話し合う。 ・講座のねらいと進め方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者と日本語補助者で 4～5 人のグループを作る。 ・110 番と 119 番の違いを確認する。
20 分	【ことば・表現を知る】 <ul style="list-style-type: none"> ・絵カード 2を見て、状況を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・119 番通報訓練の準備の活動であることを意識する。 ・絵カード 2を見て、学習者が状況を説明するのに必要なことばや表現を学習者のレベルに合わせて提示する。
30 分	【体験・行動する】 <ul style="list-style-type: none"> ・119 番通報のデモンストレーションを見る。 ・自分の住所を個人情報記入シートに記入し、正しく発音できるよう練習する。 ・絵カード 2の中から状況を選び、日本語補助者と 119 通報の練習をする。 ・学習者の代表が訓練通報を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士と日本語補助者がモデルを示す。 ・学習者の日本語のレベルによって、119 番通報で話す内容を調整する。 ・事前に消防署に訓練通報の申請を出しておく。
60 分	【体験・行動する】 <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士から心肺蘇生法の実技指導を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者の様子を見ながら、意味の確認が必要な語彙を板書する。 ・日本語補助者は学習者の理解を助ける。
30 分	【ことば・表現を知る】 <ul style="list-style-type: none"> ・実技指導の中で、分からなかった言葉の意味を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者の理解度を把握し、学習者が知らなかったことばや表現の理解が進むよう、板書した言葉の復習をする。 ・わからない言葉の解説は、まず学習者どうしで教え合うようにする。
30 分	【学習を振り返る】 <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに、講座で覚えた言葉や表現を記入する。 ・振り返りシートに書いた表現を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートには学習者が印象に残った言葉や表現、覚えて使いたい言葉や表現を書くよう指示する。 ・日本語補助者は学習者が学んだ言葉や表現を思い出せるようヒントを与え補助する。



↑ 119番通報訓練 (動画)



↑ 心肺蘇生法の訓練



グループで話し合いをすると、思わぬ方向に話が発展してしまうのですが…

学習者の話したいことなら、それは意味のある言葉のやり取り（対話）となるので、どんな方向に話が進んでもよいと思います。話し合いがテーマに沿うように、日本語補助者が、学習者の出身地では救急車の要請は何番に電話するのか、有料か無料か、日本とどんなところが違うかなどについて学習者に話してもらうように、話を振ることもあります。この場合、学習者にたくさん話をしてもらうことがポイントです。日本語指導者や日本語補助者が持っている知識を一方向的に話したり、逆に学習者を質問攻めにしたりすることは避けましょう。出身国が違う学習者がいたら、学習者どうしで質問し合うことも効果的です。



日本語指導者は言葉の意味を教えない！？

心肺蘇生法の講習で救急救命士が話した言葉の意味を学習者に理解してもらう場合、言葉の意味の解説をすべて日本語指導者や日本語補助者がする必要はありません。まず、学習者に救急救命士に直接質問をして意味を確認するよう促します。それが難しい場合は、その言葉の意味がわかる他の学習者がその学習者に教えてあげるように促すと、どちらの学習者にとっても効果的な日本語学習となります。学習者の母語が同じならば母語で説明することもいいでしょう。



「私は外国人です！」が119番通報のキーワード

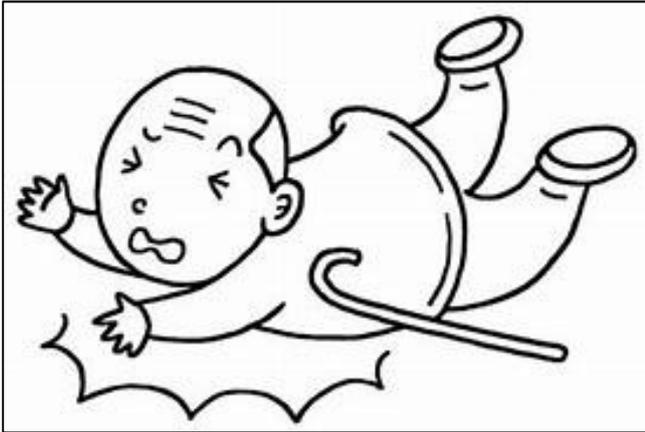
119番通報では、はじめに外国人であることを伝えることがとても重要です。119番通報を受ける通信司令員は、相手が外国人であるとわかれば、会話のスピードを落としたり、やさしい日本語で言い換えたりしてくれます。また、通訳に繋いでもらえる場合もあります。

<参考>資料1 (絵カード1)



<参考>資料2 (絵カード2)





<参考>資料3

個人情報記入シート

しめい なまえ
• 氏名 (名前)

せいねんがっぴ
• 生年月日

ねんれい
• 年齢

じゅうしょ
• 住所

でんわばんごう
• 電話番号

せたいぬし
• 世帯主

※緊急時に役立つ個人情報を書き込むカードを準備している市町村消防署もあります。

<参考> [福島市消防本部「救急安心お守りカード」](#)